

一人一人の意識で

大平小学校 六年 工藤 悠雅

ぼくは、来年から、中学生になります。近くの中学校ではなく、ちょっと遠い中学校に行く予定です。ぼくの中には今、二つの気持ちがあります。一つ目は、どんな中学校生活になるのかということです。二つ目は、学校に通うときの交通安全です。

ぼくは、二年続け、自転車に乗って事故を起こしたことがあります。今年一年間は、その反省を生かして、安全に過ごしてきました。め、事故にあうことはありませんでした。

自転車に乗っている人とすれ違うとき、いつも思うことがあります。なぜ、ヘルメットを付けていないんだろう。努力義務化になつたのに、よくテレビで見ると自転車事故のニュースが入。ぼくは、自転車に乗る人みんながヘルメットを付けてあげれば、重傷な怪我や死んでしまふことのリスクは減ると思います。

だから、ぼくも中学校に行っても、学校の

時だけじゃなく、遊びに行く時なども、ヘルメットを付けて左側通行します。横断歩道は自転車を押しつたるなどのあたりまえのこととをしっかりと守って、安全に過ごしたいと思います。

この前、すごいスピードで走っている車を見ました。さらに、今年の冬は、雪がとても少なく、道路がおつていないすべらない冬です。そこ下ばくは、今年の冬を過ごしていて、次のようなことを感じました。

すべらないからといって、スピードを出すのはダメだ、歩行者も、道路わきを歩く時車がよけてくれるから、遊びながら歩いてもいい。

このような考え方でなく、一人一人が気をつけようという意識をいつも頭に入れていると、事故が起こらないと思えました。

雪が少ないから、自転車に乗っている人を今年によく見ます。自転車に乗ることはいいのですが、周りに迷惑ががります。雪が積

もっていなくても、道路がすべる場合もあるし、やっぱり冬に自転車に乗るのは、危険だと思っています。

現代は、センサーで人と感知する車や、自動ブレーキがかかる車が出てきています。でも、まず先に、こういった車に頼るのではなく、運転をする人は、スピードを出さないようにしたり、横断歩道を渡る人へのゆずりあげると、まずは自分で気をつけることが大事だと思っています。

歩行者も、自動車を運転する人も、自転車に乗る人も、今し、かりと安全に気をつけている人は今までよりも、し、かり、今ち、と危ないかもと思う人は、気をつけてみてはどうでしょう。その小さな意識で、むつ市、県、全国の交通安全が成り立っています。安全というものは、少しでも気をぬいてしまつと、一瞬で危険な状態になつてしまいます。そういうことにならないうちに、気持ち

にゆとりを持ち、一人一人が気をつけること
で、事故は減ると思います。

事故を起こす人も、被害にあった人も、昨
日までは普通に生活していたのに、一瞬で普
通じゃなくなっちゃいます。

悲しいことが起きないよう、自分も気をつ
けて、春から中学校に通います。